# 週間天気予報解説資料

2026年7月31日10時00分発表
気象庁

予報期間　8月1日から8月7日まで

## ◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 台風第13号については最新の台風予報を参照。
- 8月3日は、千島近海と黄海付近に高気圧があり、千島近海の高気圧が日本海に張り出す。
- 4日から7日にかけて、千島の東の高気圧が日本付近に張り出す日が続く。

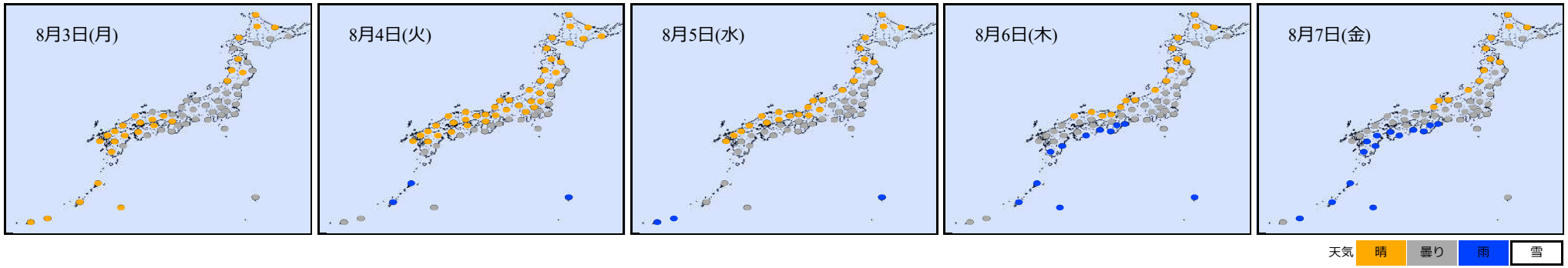
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 8月3日から5日頃は、小笠原諸島では台風第13号の影響で荒れた天気や大しけとなり、台風の進路等によっては大荒れや警報級の大雨となるおそれがある。
- 5日頃は、台風第13号の影響で西日本太平洋側と沖縄・奄美では波が高くなり、台風の進路等によっては大しけとなるおそれがある。
- 東日本、西日本、沖縄・奄美では、気温が平年よりかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

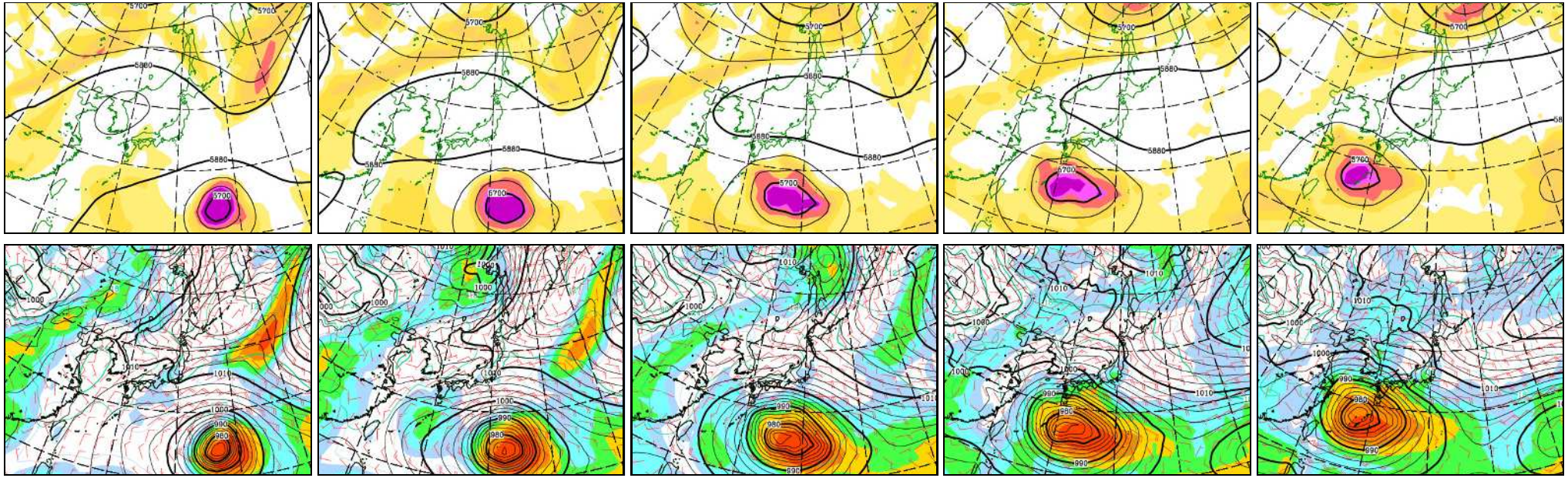
## ◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)




- 北日本は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 東日本と西日本は、太平洋側は雲が広がりやすく8月6日と7日は雨の降る所がある。日本海側は晴れまたは曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、3日は晴れる所が多い。4日から7日にかけては曇りや雨の降る所が多い。

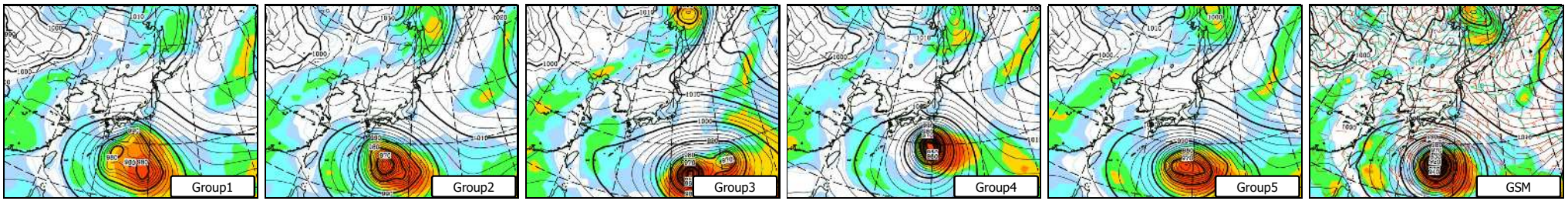
## ◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)

8月3日(月)　8月4日(火)　8月5日(水)　8月6日(木)　8月7日(金)



渦度($10^{-6}$/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆8月5日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図　海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)




風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、大きな初期値変わりはない。
- 各モデルともに、大きな初期値変わりはなく、モデル間の差も小さい。
- 台風の進みについてはモデルによってやや差がある。ENSのメンバー間のバラツキは、モデル間のバラツキよりも大きい。

## ◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。